

NO. 160

泉南走ろう会

先社
絡ホー
南スホー
連泉0724(83)4653

” 師走に思う ”

会長 遠健三

いよいよ年。瀬となりました。会員の皆様、今年は何でしたか。ケガをなされた方、病気に罹られた方もおられました。大した災難にならなかつた。よかったです。と会員一同、ほっとしております。さあ、来年は体に注意を、元気で頑張りましょう。

師走となり色々思うに、今年はずいぶんわやあつた、負けたくない人に負けた残念、狙っていたタイムを出せなかった。無念々々。また思っていた以上に記録が出せた。宿敵に勝てた。今は満足であると思う人、人様々であります。よく考えてみると、それ等すべて、今年のように思い出さなかったと思えます。

切角、マランに参加申し込みながら、何等の都合により棄権した。また頑張ったが完走ならず残念であった。完走出来た、よかったです。よかったです。ふマランながらやばいと思ひ出せば得なかつたと思えます。

相撲とりの千代ノ富が言いました。「少し手を伸ばせば届くと、目標を置き、それに向

って努力する。それをクリアすれば次の目標に努力する」と。小錦関がいいました。「希望のない人生は生きていても仕方がない。常に希望を持ち、自分には定年まで頑張り」と。さて皆さん今年はいかで終ったが、来年こそは目標、希望を持って頑張りましょう。師走に思う。



酒の呑みすぎと走りすぎに注意しましょう。

酒の呑みすぎ、走りすぎせず、健康で今日も奥さんや子供さんにプレゼント。

走り三日すれば止められない、走り三日休めば走る気がしない。



お知らせ

一、例会日について

平成六年度の例会日は、十二月十八日をもって終りました。

来年度例会は、十二月廿四日曜日からです。集合時間、場所はいつもの通りです。

会員の皆様、いままでもあり例会に参加したことがないが、新しく入会された方もおられます。二つ来年から自分も参加しようと思ひ、心を一転、ふるって御参加下さいませ。よう期待しております。

一、例年の阪南駅伝について

平成七年度の阪南駅伝は、中止のことに残念。切角早々のランニングとは、りきて毎年御出席下さいました選手の方、あしがき。またの機会によくお願いします。

一、走ろう会、会費収支報告について

十二月十八日ミニマラン参加。そのあと忘年会の時に、今年一月より十一月(十二月)の支出、まだの(あり)までの収支報告をさせて頂きました。が、来年度一月の収支報告にて、一年分の収支報告させて頂き、御了承下さい。

一、会費について

当初一ヶ月二〇〇円の会費が昨年度より、一ヶ月三〇〇円となり、年間会費三、六〇〇円納入して頂いておりましたが、またもとに戻りました。一ヶ月二〇〇円と忘年会の席上協議して頂きまして決まりました。

会費の納入よろしくお願いたします。支出の主な通信費、切手及びコピー代等。

二、ニュースについて

今まではニュースといっても古いニュースでしたが、今回は新しいニュースです。

先日行なわれました泉南市オナ回ミララン大会に参加、左記の方が入賞されました。皆さん拍手を送りましょう。入賞おめでとうございます。

記

★一般部

男子 五〇〇〇米

一位 川本先生

三位 岡田さん

女子 三〇〇〇米

三位 松井さん

★壮年の部

壮年の部で誰もなかったのはうと淋しい。来年は頑張ります。 (私も頑張ります。ほんまかいなあ)

二、泉州国際市民マラソンについて

参加申し込みには、ほぼ参考決定の通知を受領されたと思えます。

嬉しいような、かなわんなあと思っております。別にならなくて、これは誰か私を知っております。別にならなくて、これは誰か私を知っております。別にならなくて、これは誰か私を知っております。



一、元旦初詣で三社参りランニングについて

左記により実施したたく存じます。これは一年の計は元旦にあり、95年も健康で元気に走り続けたいです。うにまた歩け歩けで頑張りましょう。うにと、また家内安全と健康を祈願する新春初詣ランニングです。奮って御参加下さい。

記

(一)とき 一月一日(雨天決行)

(二)集合場所 新家公民館前

当日新家の宮さんは混雑すると思われるので公民館前です。お間違いないように

(三)集合時間 午前六時

(四)コース 新家榊河神社、上之郷志賀美神社、日根野日根野神社

(五)備考

- (一)これは初詣ランニングですので、神社により御酒を頂くこともありますのでゆくり走ります。
- できるだけ多く御参加下さい。
- (四)ランニングの後には体が急に冷え込みます。なにしろソフもの例会より時間がかからなくて必ずランニングの

後は着替えして下さい。
(着替の用意忘れなないように)



雑談 雑談

先の忘年会の席上人間なにか目標がないと取目だ、来年はフルトラマラソンにチャレンジしよう、大いに公は賑あいました。さて、左記の写真、私は一昨年秋往還フルトラマラニックに参加したときの写真です。どうですか、ゴールの写真いまにもへなへなと倒れそう。四十四時間八分二五〇キロ走った時の写真です。今一度参加したいと思っております。皆様も頑張りましょう。



か、ゴールの写真いまにもへなへなと倒れそう。四十四時間八分二五〇キロ走った時の写真です。今一度参加したいと思っております。皆様も頑張りましょう。

そして、もう一枚は主催者に大会参加の礼状です。
「文集」にのせて下さってありがとうございました。
フルトラマラニックとは、大体こんなようなものかと思っております。よき思い出です。

拝啓 初夏の候益々御勇健の趣大慶に存じます。
秋往還二五〇キロマラニック試走会の大成功心から御祝い申し上げます。
会長様には参加者が完踏出来る出来ないは別として全員無事出発地点にまで帰られるよう、また七種目の参加者ことなきよう大変な御心労のことだっと思います厚く御礼申し上げます。
さてゴールして今思いますが「走っている時は「走って歩いて地元の特産品を賞味して」とのうたい文句であるが何が走って歩いてこんな坂道しかも暗がりでの山道どうして走り歩くのだ。よくもこんなこと考えたものだ(失礼)その時はもう思いましたが、本当に良かったこの景色を見せるためのこのコースまた夜空の星がきれいでした。入浴も良かった。エードステーションの食べ物もおおいしかったです。もっとベイス配分を考えるならば青島海岸の土産物の魚、食べたかったです。これが心残りです。本当にうたい文句にある通りの楽しい大会でした。来年も出来れば参加させて頂きたいと存じます。その節は、よろしくお願い致します。
大変お世話になりました。今は感謝の気持ちで一杯です。有り難う御座いました。厚く御礼申し上げます。
末筆失礼ながら御自愛を祈ります。

二五〇キロ・N.O. 四五 達 健三

※一月号原稿

栗野原さんお願いします。

